

矢賀 学区だより

第448号 (毎月1回)
令和 2年 9月 1日
編集発行
矢賀学区連合町内会
矢賀学区社会福祉協議会

新型コロナウイルス対策をして

矢賀体協行事が始動

毎年八月に開催していましたが「夏祭り・追悼盆踊り大会」は、今年は新型コロナウイルス感染症予防のため真に残念ながら中止となりました。

矢賀体育協会も、皆さまの健康を考えて活動を自粛してきましたが、長引く自粛に対処し活力を高めるため、この度、新型コロナウイルス対策を講じながら次の行事を開催することになりました。

開催行事

※ グラウンドゴルフ大会

開催日 10月4日(日)

場所 矢賀小学校グラウンド

※ ペタンク大会

開催日 11月8日(日)

場所 矢賀小学校グラウンド

多数の皆さまの参加をお願いします。

参加に当たっては、マスクの着用、手の消毒や体温測定などのご協力をお願いします。

当日、発熱や体調不良などの方は、参加を自粛頂きますようお願いいたします。

矢賀社協

矢賀連合町内会

理事会を開催

矢賀社協と矢賀連合町内会の理事会は、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、開催を見合わせていましたが、八月二十二日(土)に開催されました。

開催に当たっては、3密を避け、窓・ドアを開放した開催となりました。

毎年九月に開催していましたが「敬老会」の矢賀中央集会所での行事は中止となりますが、中止に伴う敬老会参加予定者への、安否確認を含んだ「粗品配布」の実施要領や広島市の地域活性化事業募集要項の説明など、溜まった議題を審議して、理事会を終了しました。

広島市から出されている八月末までの

【イベント等の開催に関する基本方針】

・屋内であれば、5,000人以下、かつ収容定員の半分以下の参加人数にする。

・屋外であれば、5,000人以下、かつ人と人との距離を十分に確保できること(できるだけ2重を確保する)

を目安としつつ、感染防止対策を講じた上で開催する。

以上が八月までの基本方針でしたが、九月以降の広島市の基本方針が新たに発表されます。今後はそちらを参考にしながら、これからの矢賀社協、矢賀連合町内会の行事を進めて参ります。皆さまのご理解とご協力を宜しくお願いたします。



3密を避けた理事会の様子



小学校だより

長雨の次は猛暑が続いております。地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスに加え、熱中症対策にも気を配らなければなりません。どうぞ、お体ご自愛ください。

さて、小学校では、八月二十一日(金)から学習をスタートしました。例年に比べると大変短い夏休みでした。普通であれば、長い夏休みを使う、自由研究をしたり、絵を描いたり、工作に挑戦したりできましたが、今年はそれが叶いませんでした。また、帰省の自粛もあり、おじいちゃん、おばあちゃんの顔を見ることができなかつた子どもたちもいたと思います。

このように、子どもたちにとっては、これまででない我慢の夏休みになったのではないかと思います。

学校生活においてもいろいろなところで子どもたちに我慢をしてもらうことが必要になっています。暑い中のマスクの着用、熱中症予防のため外の遊びの自粛等いろいろな約束事を守

つてもらわなければなりません。また、今後行う行事についても検討していかなければなりません。

例えば九月二十六日(土)に予定している運動会です。児童だけでなく保護者の皆さんの密を避けるために、どのようにすればよいか話し合い、これまで五つの案を考えました。案ができることにPTA執行部のみなさんと協議を行い、問題点を確認し、再度学校で修正案を練りました。

これを繰り返し、現在のところ、種目数を減らして午前中だけで行うことになりました。密を避けるために昨年度の卒業式のように来賓、地域の皆様のご出席については難しい状況ですので、どうか、ご理解いただきたいと存じます。

毎年、運動会を楽しみにして下さつておられた皆様には大変申し訳ございませんが、もう一年お待ちいただければと思います。

運動会だけでなく、五年生の野外活動、六年生の修学旅行等どのような対策を行つて実行するか検討中です。現時点において百パーセント安心という対策はできないと思います。しかし、できるだけ中止という選択

肢をとらないよう、子どもたちの楽しみを奪うことのないように、皆で知恵を出し合つていきたいと思つてます。

広島市立矢賀小学校

校長 原 徹

九月の行事

2日(水)学校協力者会議

26日(土)運動会

雨天の場合は27日(日)



8月6日平和集会 被爆体験
伝承者 中本さん(元矢賀小学校教諭)のお話の様子

幼稚園だより

二期期も

よろしくお願ひします」

夏休み明けの子供たちは、園庭でフウセンカズラやヒマワリの種を見つたり、トンボやバッタを追いかけたりして、久しぶりの友達や先生との触れ合いを楽しんでいます。例年以上に暑い日が続いた夏休みが終わり二期期が始まりました。

今年の夏休みは感染症対策が欠かせず、出かけることが少なかったり、出かける際には細心の対策をされたという日々だったと思います。そのような中でも、子供たちは地域にあつて、家族の人との生活を通して、またひとまわり大きくなってきました。家庭でのお手伝いに進んで取り組めるよう配つた「よいこのなつやすみ」では、保護者の方の協力を得て、子供なりに「役に立つ」ことの喜びを感じながら奮闘した様子がかうかかえます。自分では、(大人のように)こうしたい、あるいは(できる!)と思つても、初めから上手にできないこともあり、保護者の方が待つて下さつて、少しずつ上手になってきたようです。

そんな家庭での体験の積み重ねが子供の自信を深めたり、意欲をさらに広げたりすることにつながつていま

す。幼稚園が始まり、久しぶりの友達や先生と楽しく会話したり、ともに遊ぶことを喜んだりする姿に、この夏の間には得た自信の光が見え隠れしています。

一学期は、これまでの成長をさらに深めていく時期です。暫くは残暑が続くと思われませんが、次第に暑さがやわらぎ爽やかな時期を迎え、冬へと移り変わるなか、運動会や遠足、生活発表会などの大きな行事を計画しています。新型コロナウイルス感染症対策の取組を続けながら、この時期の子供たちにとって大切な直接体験を、どのように工夫していくか、子供たちとともに、じっくり考え実践していきたいと思っています。その経験を通して、子供たちがさらにたくましく、自分らしく遊び、生活することができるよう。

小さい種から芽生え、双葉、本葉と広がり、風雨や日差しを受けてたくましく生長し、大輪の花を咲かせてヒマワリのように、子供たちも自分なりの道筋をたどり立派な花を咲かせてほしいと思います。

そのために幼稚園が、いきいきと遊び、生活できる居心地のよい場所

であること、子供にとって、仲間であり、モデルであり、よき理解者である教師が傍に居ること。夏休みの間に、職員間で話し合いを重ね、二期の準備をしてきました。

ヒマワリの生長のように、子供の内なる力が現れる環境をつくり、じっくり時間をかけ、傍でよりよい、一人一人の開花を待ち、花開く瞬間とともに喜びたいと思います。地域の皆様、保護者の皆様には、引き続き、幼稚園教育推進について、温かい御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の新しい生活が始まって初めての秋を迎えます。感染症予防に細心の注意を払いながらも、美しい季節の移り変わりに心を寄せ、子供たちとともに、遊びや生活をじっくり進めていきたいと思えます。夏休み期間中に始まりましたブロック塀改修工事が続きます。ご心配をおかけしますが、ご協力よろしくお願いたします。

九月の行事

1日(火)弁当開始

9日(水)わくわくランド

18日(金)うさぎルーム
23日(水)降園指導
28日(月)なかよし広場

*予定は感染症等の状況により
ことがあります

広島市立矢賀幼稚園

園長 木村みゆき



正門のヒマワリ



花壇のフウセンカズラ

児童館だより

今年、マスクを着用して猛暑を過ごす「いつもとは違う夏」を体験しました。

体調管理をするのに過酷な夏でした。児童館は来館者の感染予防及び児童館諸室を活用した放課後児童クラブの「3密」回避の観点から九月も一律休館となりました。

放課後、校庭や近くの公園ではじ

けんばかりの笑顔で遊んでいる子どもたちを目にすると長い期間、児童館が子どもたちの「遊びの場」の役目を果たせないことについては寂しい気持ちがあります。今は感染拡大防止のための対策を徹底し続けることを第一優先に考えて開館に備えています。

放課後児童クラブの子どもたちは「いつもよりは短い夏休み」の間、朝から児童館内で過ごしました。毎年児童クラブ利用の保護者の皆様を対象に実施している「夏休みの生活について」の説明会も今年度は、感染予防の観点から初めて夏休みを利用する新一年生及び新規利用のご家庭を対象に個人面談方式で説明を行いました。

児童クラブからのお願だけではなく、子どもたちの家庭での様子等も聞くことができ保護者の皆様とはとても「密」な時間をつくることができました。

お弁当の時間は、一台の長机に二人(同じ方向を見て座る)という対策を取ったため時差で食べました。また今年、昼食後に「読書タイム」を設け、各ご家庭で漫画以外の本を準備

していただきました。自分が選んだ読みたい本を読めるので子どもたちも「読書タイム」の時間を楽しみにしていました。

対面で座ることや、大きな声でおしゃべりすることは感染予防の観点から子どもたちに指導を行っていません。子どもたちへの制限も多くあると思います。

そんな中、子どもたちと一緒に少し大きめの「オセロ」を作りました。

盤の色付けをしたり絵をかいいたり予定していた作業はまだあったのですがそれは後日に回し、形ができた所ですぐに対戦をしました。

対面でも二人の距離を取って対戦できるので喜んで対戦しました。

今年の夏休みは児童館も、個人面談を行ったり、読書タイムを作ったり、大型オセロを作ったり「いつもと違うこと」を試してみました。

考え方や捉え方次第で「いつもと違う夏」がネガティブなものだけでなくポジティブなものに転換できるんだなと実感しました。

いろいろと制限も多い中、子どもたちと一緒に少しでも楽しいことができたらいいな。

◆9月の行事

休館のため、予定はありません。



少し大きめのオセロ

広島市矢賀児童館

◆こんにちは 保健師です



9月24～30日は結核予防週間です。厚生労働省がかかっている今年の標語は、「元気ですか、はい肺！」です。結核健診を受けましょう。

結核と聞くと「昔の病気」と思われがちですが、実は日本は結核の中間延長国です。広島市でも平成30年には108人の患者が報告されており、そのうち約7割が65歳以上の高齢者でした。

今の高齢者の多くは、結核の多かった戦前から戦後の時代に結核菌に感

染しています。その時は発病しなくても、高齢になって免疫力が衰えてきたり、何らかの病気を患ったりして体力が低下すると、結核菌が活動を再開し発病が引き起こされます。この機会に結核のことを正しく知ってみませんか？

◆どんな症状があるの？

結核の症状には咳や発熱、体重減少等があります。風邪の症状に似ていますが、このような症状が2週間以上続いたら注意しましょう。

◆結核から身を守るには？

結核の感染・発病を防ぐには、体力の保持と早期発見が重要です。

- ① 体力・免疫力維持のために、栄養バランスの取れた食事をとる
- 疲労が溜まらないように休養をしっかりとる等の健康的な生活を送りましょう。
- ② たばこは免疫力の低下や結核の発病に影響します。禁煙を目指しましょう。
- ③ 結核の早期発見のため、風邪のような症状が続いたら早めに医療機関を受診しましょう。

④ 症状がなくても定期的に健診を受けましょう。結核を発症していないかどうかは、胸部エックス線(レントゲン)検査で分かります。年に1回は検査を受けて、肺の健康状態をチェックしましょう！

東保健センター地域支えあい課

☎082(568)7729

保健師 小松 彩乃

社会福祉協議会へ

温かいご寄付

ありがとうございます

去る六月六日、矢賀二丁目の久保澄子様がご逝去になりました。

この度、喪主久保徹見様から生前何かとお世話になったお礼にと金一封を本会にご寄付いただきました。

厚くお礼申し上げます。

ご寄付いただきましたご芳志は、町内の住民福祉のため有効に使用させていただきます。

矢賀学区社会福祉協議会

会長 山本 和登